

ハサの蝶々

八事に古くから伝わる郷土玩具です。明治維新後、帰農した尾張藩の士族たちが農閑期の仕事として作り、行楽客に売ったのが始まりです。興正寺の門前や八事にあった遊園地に並べると、大勢の人が「八事のお土産」として買っていったそうです。材料は竹ヒゴ・キビガハ・和紙で、形や羽の模様は、作る地域や家によって異なっていました。大きさも半紙半分ぐらいから2〜3畳ぐらいのものまであったようです。

現在は、天白区の故・加藤かなさんが伝統を守ってきた蝶々が、保存会によって受け継がれています。



ぶらり昭和区MAP
〜八事・興正寺〜

製作：「ぶらり昭和区MAP」製作委員会
桜花学園高等学校インターアクトクラブ
昭和区案内人クラブ
昭和鷗城会
八事・秋中歴史研究会
協賛：名古屋昭和ロータークラブ

昭和区まち歩きアプリ「Show MAP」
ダウンロードはこちらから
<https://nkc-showmap.com/>
アプリ制作：名古屋工学院専門学校



発行：名古屋市長和区役所
TEL 052-735-3822 FAX 052-735-3829
2023.7 1,000部
※この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

昭和区に
伝わる
昔話

昭和区には、いくつかの昔話や伝説が今も伝えられています。どこかユーモラスだったり、ちょっと心がぼっこりしたり。そんな、人々の暮らしに根ざした昔話を紹介します。

だいたぼっち

昔、尾張の国に子供のいない百姓夫婦が住んでいました。ある日、畑仕事をしていたら、急に空が真っ暗になり、大粒の雨が降り出しました。あわてて木の下に逃げ込むと、雷が落ちる音がして、「痛いよ」という声がしました。何と、雷の子が泣いています。

「こらこ」と雷を振り上げると、「何でも願いをかなえるので助けて！」と言います。そこで夫婦は「子供を授けてほしい」と言いました。ほどなくして、夫婦に元気な男の子が生まれました。二人は大喜びして、雷の子に言われたとおり、くすの木の桶を作り、笹の葉を二枚入れて、湯浴みをさせました。すると、男の子はグツと大きくなり、一日に何回も湯浴みをさせると、男の子は何もすくなく、力持ちに育ちました。村人たちは「ぼっち」と呼んでかわいがっていました。

ある年、大きな岩が川をふさいで、作物が穫れなくなりました。あの岩が動けばいいと村人の嘆きを聞き、ぼっちはその場所へ行き、岩をグイッと押しました。すると、岩はゴロゴロと転がりました。川は水で潤い、村人たちはとても感謝しました。



参考文献：東海の民話など

まちあそび
コラム

南山学園の歴史を知って、建物を見てみよう。

B 南山アーカイブズ(ライネルズ館)、講堂、ピオ十一世館

南山アーカイブズは、南山学園の史資料の収集・保存・展示などを行っている施設で、一般公開しています。この建物は、昭和7年(1932)に旧制南山中学が開学する際の校舎として建てられました。創設者(校長)にちなみ、ライネルズ館と名付けられています。外観は、黄土色のテラゾーで仕上げられ、玄関ポーチの円柱や屋上の手すり壁にある三角切込みなど特徴的なデザインとなっています。展示室には、当時の制服や生徒手帳など、さまざまな刊行物が展示されており、南山学園の歴史を知ることができます。また、スタンプラリーもあり、楽しみながら見学ができます。なお、名古屋市都市景観重要建築物の指定(平成8年)を受け、国の「登録有形文化財」にも登録(平成10年)されています。

近くにある講堂(昭和26年設立)やピオ十一世館(昭和28年設立)も、設立年代こそ違いますが、黄土色のシックな造りになっており、一体感ある景観を醸し出しています。講堂・ピオ十一世館とも、名古屋市都市景観重要建築物の指定を受けています。(両施設は内部非公開)

※ピオ十一世館は、神言会の修道院として建築されましたが、現在は南山学園の本部として利用されています。



写真上下とも
南山アーカイブズ(ライネルズ館)



写真上:講堂、下:ピオ十一世館

八事・興正寺エリアアッ?
〜そのあらし〜

地下鉄いりなか駅、八事駅の南西部に広がる丘陵地が八事学区です。もともとは山林の中に田や畑が点在する農村地帯でしたが、名古屋市に合併後、大正14年(1925)に始まった八事区画整理をきっかけに発展が始まります。区画整理といっても、丘陵の地形を生かした開発で、山林を残しつつ曲線の道や坂が多くみられます。また、昭和7年(1932)に南山町に南山学園が創設されて以来、文教地区としても発展してきました。国道153号やグリーンロード沿いは学生や買い物客など、多くの人々で賑わっています。

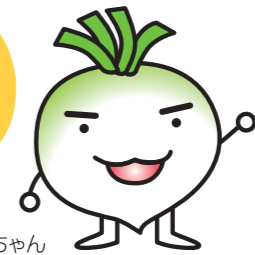
八事駅の北西部には、八事山興正寺があります。「尾張高野」と呼ばれ、多くの信者が訪れています。境内も広く、五重塔・大日堂をはじめとした堂宇が立ち並ぶとともに、豊かな自然も残されています。

この地区は、貴重な自然が残る丘陵地に閑静な住宅地が広がるとともに、由緒ある寺社や教育施設・商業施設が点在しています。地図を片手に、ゆっくりと街を歩いてみませんか。



八事興正寺「尾張名所図会」より

梅の花味く、みんなの公園。歴史ロマンに出会える興正寺。緑あふれる学園や街並み。ぼくと一緒にまちの魅力を探してみよう!



昭和区のマスコット ショウちゃん

ぶらり昭和区MAP
〜八事・興正寺〜



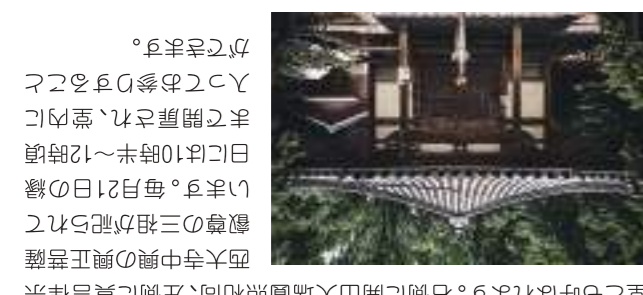
名古屋市長和区役所



「山門の石柱」は、寛政10年(1799)に建てられた。山門の石柱には、山門の石柱と書かれている。山門の石柱は、山門の石柱と書かれている。山門の石柱は、山門の石柱と書かれている。



「不動尊像」は、寛政10年(1799)に建てられた。不動尊像は、寛政10年(1799)に建てられた。不動尊像は、寛政10年(1799)に建てられた。



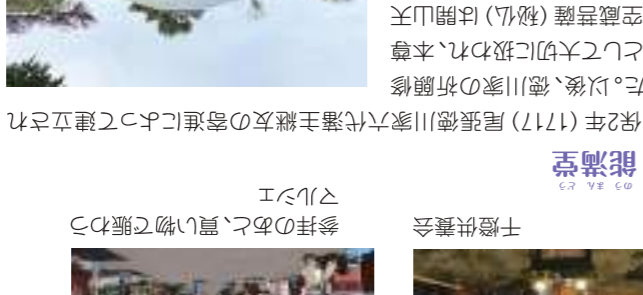
「弘法堂」は、寛政10年(1799)に建てられた。弘法堂は、寛政10年(1799)に建てられた。弘法堂は、寛政10年(1799)に建てられた。



「東山門」は、寛政10年(1799)に建てられた。東山門は、寛政10年(1799)に建てられた。東山門は、寛政10年(1799)に建てられた。



「大日堂」は、寛政10年(1799)に建てられた。大日堂は、寛政10年(1799)に建てられた。大日堂は、寛政10年(1799)に建てられた。



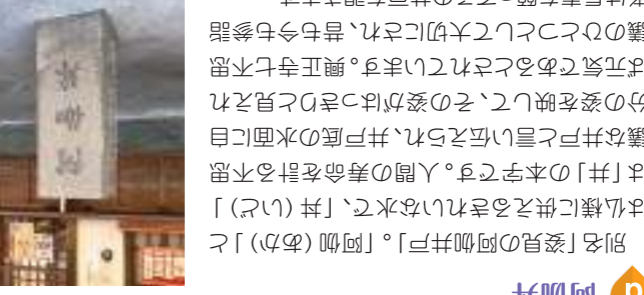
「不動尊像」は、寛政10年(1799)に建てられた。不動尊像は、寛政10年(1799)に建てられた。不動尊像は、寛政10年(1799)に建てられた。



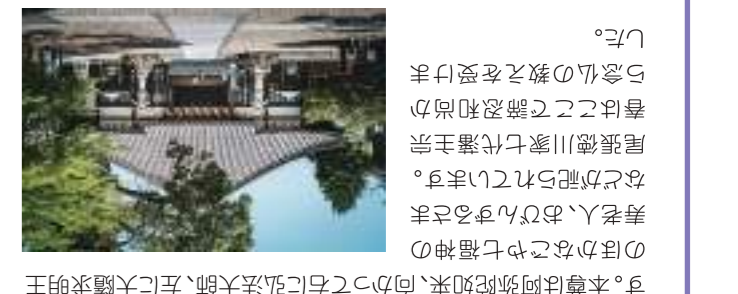
「西山本堂」は、寛政10年(1799)に建てられた。西山本堂は、寛政10年(1799)に建てられた。西山本堂は、寛政10年(1799)に建てられた。



「龍泉閣」は、寛政10年(1799)に建てられた。龍泉閣は、寛政10年(1799)に建てられた。龍泉閣は、寛政10年(1799)に建てられた。



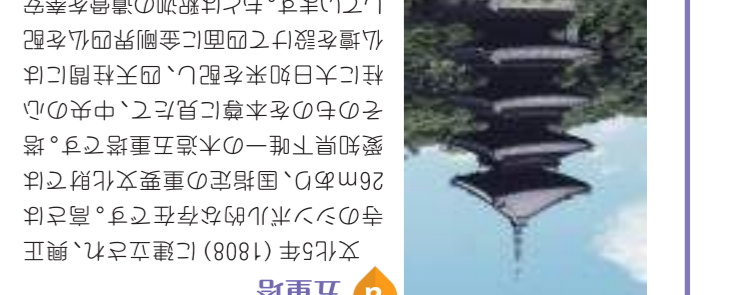
「阿彌」は、寛政10年(1799)に建てられた。阿彌は、寛政10年(1799)に建てられた。阿彌は、寛政10年(1799)に建てられた。



「西山本堂」は、寛政10年(1799)に建てられた。西山本堂は、寛政10年(1799)に建てられた。西山本堂は、寛政10年(1799)に建てられた。



「龍泉閣」は、寛政10年(1799)に建てられた。龍泉閣は、寛政10年(1799)に建てられた。龍泉閣は、寛政10年(1799)に建てられた。



「阿彌」は、寛政10年(1799)に建てられた。阿彌は、寛政10年(1799)に建てられた。阿彌は、寛政10年(1799)に建てられた。